

「高梁川流域治水シンポジウム」を開催（前半）

- 令和6年10月20日(日)、倉敷市民会館にて「高梁川流域治水シンポジウム」を開催(参加者約200名)。
- シンポジウム前半では、高梁川流域で取り組まれている「流域治水」の説明、岡山河川事務所の河川事業の取組報告、その後「流域治水の取り組みと高梁川流域の将来に向けて」をテーマにパネルディスカッションを実施。

開会挨拶



シンポジウム開催都市の市長、高梁川流域連盟の会長である伊東倉敷市長による開会挨拶

特別講演 (WEB出演)



「まびふれあい公園」を設計した隈研吾氏による「川と建築」をテーマとした特別講演

パネルディスカッション



司会



中島アナウンサー(テレビせとうち)

流域治水の取材経験を踏まえ、分かりやすく進行。

コーディネーター

岡山大学学術研究院 西山教授

気候変動による流域治水対策の必要性和、災害に強いまちを実現するための今後の方策をとりまとめて頂いた。



流域治水、河川事業の取組報告



高梁川流域において重点的に取り組む流域治水対策の説明(垣原所長:岡山河川事務所)



事務所職員による浸水体験VRを用いた完成後の小田川合流点付替え事業の説明

パネリスト



株式会社EnPal
金藤 純子 様

倉敷市真備町における知らないでは済まされない水害を説明。



岡山河川事務所長
垣原 清次

今後、高梁川流域で進んで欲しい流域治水対策を説明。



元真備船種商工会
堀口 真伍 様

サイクリングロード設定等による復興に向けた取組を説明。



倉敷中央病院
藤本 義秋 様

倉敷中央病院における自主的な流域治水対策の取組を紹介。



箭田地区まちづくり推進協議会
守屋 美雪 様

子供たちへの防災教育、住民による樹林化抑制等の取組を紹介。

「高梁川流域治水シンポジウム」を開催（後半）

- 後半は、高梁川流域治水大使の任命後、大使と事務所職員による流域治水模型の実演。岡山県職員によるダム の事前放流と、倉敷市職員による「田んぼダム」等の流域治水の取組紹介。最後に今年度実施した高梁川流域治水ポスターコンクールの優秀作品を表彰式を実施した。
- 参加者から「流域治水を考えるきっかけとなった」などの感想を頂いており、「流域治水」への理解増進が期待される。

高梁川流域治水大使任命式



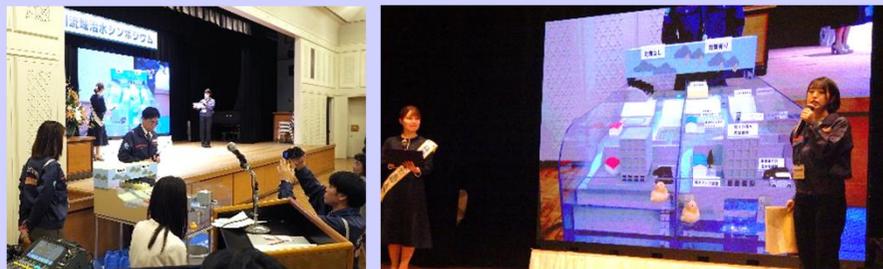
倉敷ケーブルテレビの森アナウンサーに高梁川流域治水大使の任命書を授与させて頂くとともに、高梁川流域治水大使による今後の普及・広報活動への意気込みを宣言して頂いた。

高梁川流域治水ポスターコンクール表彰式



優秀作品への表彰を行った後、特別ゲスト倉敷小町から受賞者の皆様にポスターへの想いについてインタビューを実施。

流域治水模型の実演と流域治水の取組紹介



流域治水大使と事務所職員による流域治水模型を用いた実演状況。

併設展示

浸水体験VR



流域治水模型(倉敷市)



ポスター優秀作品展示



倉敷市職員による「田んぼダム」堰版の説明。



倉敷市職員による貯留施設整備の説明。



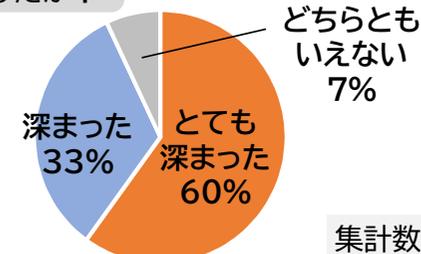
岡山県職員によるダム事前放流の説明。

参加者アンケート



フィナーレ

Q. シンポジウムに参加して「流域治水」への理解が深まりましたか？



集計数: 73件